

TG		461000		
TG		担当部署		
TG		生化		
検査オーダー				
患者同意に関する要求事項		特記事項なし		
オーダーリング手順	1	電子カルテ→指示①→検査→*1.頻用→		
	2	電子カルテ→指示①→検査→*2.分野別→生化学→		
	3			
	4			
	5			
検査に影響する臨床情報		特記事項なし		
検査受付時間		8 : 15～16 : 00		
検体採取・搬送・保存				
患者の事前準備事項		食事による影響がある為絶食での採血が望ましい。		
検体採取の特別なタイミング		特記事項なし		
検体の種類	採取管名	内容物	採取量	単位
1	全血	10 青	分離剤	8 mL
2	-	-	-	-
3	-	-	-	-
4	-	-	-	-
5	-	-	-	-
6	-	-	-	-
7	-	-	-	-
8	-	-	-	-
検体搬送条件		室温		
検体受入不可基準		1)採取容器違いの検体 2)バーコードラベルの貼られていない検体 3)固形物 4)粘性のある検体		
保管検体の保存期間		冷蔵・2週間(追加検査については、検査室に要問合せ)		
検査結果・報告				
検査室の所在地		病院棟 3 階 中央検査部		
測定時間		当日中～翌日		

生物学的基準範囲		M:40-234mg/dL F:30-117mg/dL 日本臨床検査標準化協議会 共用基準範囲				
臨床判断値		設定なし				
基準値					単位	mg/dL
共通低値	共通高値	男性低値	男性高値	女性低値	女性高値	
設定なし	設定なし	40	234	30	117	
パニック値	高値	設定なし				
	低値	設定なし				
生理的変動要因		<p>食後 2-6 時間は食事の影響を受ける。アルコール類と脂肪を同時に摂取すると 12 時間以上経ても TG 値は 2 倍以上増加する。運動により変動し、個人差、日差変動が大きくその幅は 100mg/dL になることもある。</p> <p>食習慣や人種により差がみられ、欧米人は日本人より高値である。</p>				
臨床的意義		<p>トリグリセリドは、脂質代謝異常の推定と診断、治療方針の決定、予後判定などに必要である。高コレステロール血症、糖尿病、肥満、インスリン抵抗性症候群など冠動脈硬化の危険因子として、診断や治療方針を得るための検査である。</p> <p>日本臨床第 7 版 2.32,2009</p>				